



岐阜市立岐阜東幼稚園
令和3年3月19日
こあら組だより No.38

友達や先生と一緒に遊んで、楽しかったね

初めての集団生活なので、大好きなお母さんと離れてすごすことにドキドキした子もいたと思います。しかし、幼稚園で自分のしたい遊びを見つけて考えて遊んだり、友達を誘って遊んだり、できたことやうれしいことや困ったことなど何でも教師に話したりできるようになりました。朝や帰りの身支度、衣服の着脱などを自分でできるようになり、どの子も自信のある表情になりました。

友達が持っているものがないなと思って製作するとき、「どうやって作ったのか教えて」と頼んで、教えてもらいながら、必要な材料を準備して作る姿が見られます。また、友達の傍にあるマジックを使いたいときに、「〇〇使っていい？」と声を掛けています。言われた子も「いいよ。後で貸してね。」と答えています。共に気持ち良く生活するためのやり方、言葉などが少しずつ身に付いてきています。

今までやったことのない雲梯に挑戦する男児が出てきました。その子の好きな子が雲梯を全部できるようになったので関心がでてきたのです。最初は、私が体を支えました。そのうちに1人で10秒ぶらさがれるようになりました。次は、ぶら下がった体勢から下に跳び降りる練習です。傍にいた子がやって見せてくれました。跳び降りるのは怖いのですが、私が少し手を添えると跳び降りて見事に自分の足で着地できました。「できた！」と満面の笑みです。少し難しいことに挑戦するときには、自分のやりたいという思いが大事です。そしてその思いを支えるのは友達への憧れや友達や教師の支えであると実感しました。

どの子もなつめ組になることを楽しみにしています。4月に小さい子が入園してくることもうれしいようです。

私の行き届かないところもあったと思いますが、お子様の小さな成長と一緒に喜んでくださったり、担任の願いや意図などを理解してお子様を励ましたり支えたりして下さりありがとうございました。素直で一生懸命な10の子供たちは、これからもぐんぐん伸びていってくれることと思います。楽しみですね。温かなご支援、ありがとうございました。



こあら組 担任 石坂 和代